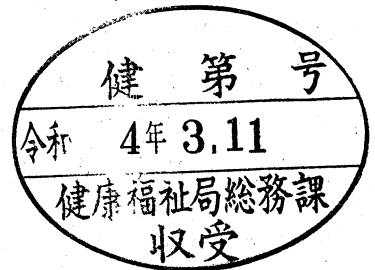


サービス評価結果報告書



名古屋市介護保険課 御中

提出日: 2022年03月10日

サービス種別 (該当に○)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		
	(介護予防)小規模多機能型居宅介護		
	○	(介護予防)認知症対応型共同生活介護	
	看護小規模多機能型居宅介護		
事業所番号	2391000060		
事業所名	ニチイケアセンター春田		
事業所所在地	(〒454-0985) 名古屋市中川区春田 3-100		
担当者名	清水君栄		
連絡先	電話	052-309-3911	FAX 052-309-3912
	mail	Hstt07@nichiiakkan.co.jp	

以下のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議等での評価 実施日	2022年01月28日
-----------------	-------------

「※要提出」の書類を添付します。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護
<input type="checkbox"/> ※要提出 ・(別紙1) 自己評価・外部評価 評価表 公表

小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)
・(別紙2-1) スタッフ個別評価 事業所にて保管
<input type="checkbox"/> ※要提出 ・(別紙2-2) 事業所自己評価 公表
・(別紙2-3) 地域からの評価 事業所にて保管
<input type="checkbox"/> ※要提出 ・(別紙2-4) サービス評価総括表 公表

認知症対応型共同生活介護(介護予防含む)
<input checked="" type="checkbox"/> ※要提出 ・(別紙2の2) 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 公表

看護小規模多機能型居宅介護
・(別紙3-1) 従業者等自己評価 事業所にて保管
・(別紙3-2) 事業所自己評価 事業所にて保管
<input type="checkbox"/> ※要提出 ・(別紙3-3) 運営推進会議における評価 公表

【提出先】 名古屋市健康福祉局介護保険課指導係
 〒460-8508 中区三の丸三丁目1番1号
 電話 052-972-3087 FAX 052-972-4147

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名: ニチケアセンター春田

作成者: 清水君栄

作成日: 2021年12月27日

運営推進会議における評価実施日: 2022年1月28日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所自己評価	記述	運営推進会議における外部評価	記述
I 理念・安心と安全に基づく運営						
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A	管理者、職員一同笑顔に溢れた日常を実践している		
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	C	コロナ前は、カフェやボランティアの憩問での交流があったが、現在中断している		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	B	開催時には、現在状況等お知らせして、意見等頂く機会を持つようにしている		
4	市町村との連携	市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	B	市役所も地域包括支援センターも近隣にあり交流に努めている		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A	毎月、身体拘束の研修を行い日常的に身体拘束に当たらないか、配慮しながらケアしている	A	毎月の研修も、実施されており帳票も保管してある
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A	管理者、職員一同、日頃のケアで、虐待に当たらないか、配慮しながらケアにしている	A	毎月の研修の中で、スタッフへのヒアリングシートの実施も適宜行っている
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	B	管理者は、勉強会等の内容の議題として権利擁護、成年後見人理解をするようにしている		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A	丁寧に口頭にて説明し、書面にて同意を頂いている		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A	意見箱を設置して、意見や要望をお聞きしている	A	玄関先に意見箱を設置して外部の声を拾いやすくしている
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A	職員にも日常運営状況の話をし、気軽に話せる環境を作っている		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A	就業しやすい環境を整え、やりがいを持てるよう努力している	A	職員にやりがいが生えるよう、興味のわく研修内容にしている
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A	就業しやすい職場を、管理者、職員ともに作っている	A	ホーム全体の離職率が、低く、長年勤めている職員が多い
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	C	コロナもあり、他事業者との交流は最小限になっているが、徐々に回復していきたい		
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A	毎月、担当スタッフより、お客様便りを送付している		
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A	ご本人が、今まで愛用してきた品や場所は、今も変わらず利用していけるようにしている		

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名: ニチケアセンター春田

作成者: 清水君栄

作成日: 2021年12月27日

運営推進会議における評価実施日: 2022年1月28日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所自己評価	記述	運営推進会議における外部評価	記述
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A	ご利用者様の一人ひとりの生活歴をしっかり把握するようにしている		
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A	3か月毎にカンファレンスを開催し、ご本人ご家族様の要望に沿った介護計画をたてるようにする	A	計画書作成に伴いカンファレンスの実施をしている
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A	毎日の申し送り、記録を明確にして、情報共有していく	A	日常の記録が、揃っている
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A	各個人の要望に沿ったケアを行っていく		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	C	毎月カフェを開催していたが、コロナにて中断している		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A	内科、眼科、歯科と連携しており、緊急時対策もとれている		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A	主治医と、救急病院との連携もとれている	A	主治医との連携及び近隣の病院との連携も行われている
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A	重度化、看取りも家族と十分に話し合い実施している	A	主治医との連携のもと看取りも行われている
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A	緊急な対応の場合も速やかに行える様にしている		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A	スプリンクラーは、設置済、避難訓練も年2回実施している	A	年2回夜間を中心として訓練をしている

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名: ニチケアセンター春田

作成者: 清水君栄

作成日: 2021年12月27日

運営推進会議における評価実施日: 2022年1月28日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	運営推進会議 における 外部評価	記述
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A	ご利用者様の一人ひとりの、言葉に耳を傾け、思いを尊重していく	A	職員が近くにいる、リビングになっている
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A	業務優先にはならず、各個人に合わせた暮らしのペースでその人らしく生活して頂いている		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A	ご利用者様の、希望を、聞きながら、食べたい物を提供している	A	メニューの設定もなく、自由に食事を提供している
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A	ご利用者様の栄養価を把握して高カロリーのゼリー等利用してカロリー確保に努め健康維持している		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A	食事前には嚥下体操を行い、食後の口腔も徹底し口腔内の清潔に心掛けている	A	各個人に合わせて、歯科医も来訪している
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A	声掛けにてトイレ誘導をし、排尿リズムを把握し、いつまでも、トイレでの排泄にこだわっている	A	各個人の排尿リズムを把握している
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A	ご利用者様の出来る限りの希望に沿って入浴している		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A	ご利用者様の居室が安心して安眠できるように環境を整えている		
34	服薬支援	一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A	服薬チェックの時、声に出して確認し、ミスを未然に防ぐとともに、服薬状況を、把握する	A	服薬の状態把握している
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A	日常生活に自然と笑顔が溢れ、利用者様の趣味、思考を鑑みて毎日楽しく過ごしてもらおう		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A	ご利用者様の希望に沿って外食、外出や散歩を日常としている		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A	お小遣いがあり、いつでも、持ち出し買物にいけるようにしている。		
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	A	希望すれば、電話及び、オンラインで家族と連絡がいつでも、取ることができる		
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A	季節に合わせた、装飾品を飾り、ご利用者と飾りつけを楽しんでいる	A	明るいリビングには、季節ごとの飾りつけがされている

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名: ニチケアセンター春田

作成者: 清水君栄

作成日: 2021年12月27日

運営推進会議における評価実施日: 2022年1月28日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所自己評価	記述	運営推進会議における外部評価	記述
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)						
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A	共有スペースでは、日当たりの良い、リビングや和室でくつろげるようになっている		
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A	ご家族様、ご友人の方々に、ご本人の生活歴、趣味、思考等、聞き取りしてご本人の望む生活が出来るようケアをしている		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をともに、ケア・支援を受けることができています	A	医療は、往診医、連携のもと体調管理の徹底、職員はバイタルチェック、食事管理を、ケアしている。	A	各個人の健康管理が徹底されている
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A	ご本人の習慣を、崩すことなく、ホームでの暮らしにも充実感を持ってもらいながら生活している		
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A	各個人の居室には、愛用品等が、持込可で、安心して生活出来ている。	A	居室には希望の家具等、持込されている
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A	外出も、ご本人の希望に沿い、買い物、喫茶店等、行けるようになっている。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A	ご本人の自尊心を傷つけることなく、出来ることを、楽しみながら、行っている。		
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A	いつも、誰かと笑顔で会話できる、環境を整え、日常の生活の活力となるように、している		いつでも、声の届くところに職員がいる
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	A	コロナもあり、現在は中止しているが、近隣住民を招いてのカフェを、行い交流の機会もっている		
49	総合	本人は、このGHIにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができています	A	ご本人が、心地よく、GHでの生活が出来るよう、職員一同心を込めてケアしている	A	GHでの生活が不安なく行われている

総評

色々な場面で、事業者の特性を生かした対応をしていると思う

現状におけるご指摘事項・事業所の課題

コロナ禍ではある為、外部との交流、及びボランティアとの交流が出来ていない
家族との面会に関しても、制限が、生じている

参加者サイン欄

名古屋市中川区西部いきいき支援センター分室 古内里美

ハシタ代表 橋本 敏文

帳票D

事業所名 ニチイケアセンター春田

作成日: 令和 4 年 3 月 9 日

作成者: 清水君栄

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	地域連携、認知症カフェなど、イベントがコロナの為実施できない	小規模でも、状態に応じて、開催できるようにしていく。	感染防止を前提とした、ボランティアの選定リビング内の配置、感染対策の徹底	6ヶ月
2	28	食事のメニューの偏り	利用者様の思い、希望に限りなく沿っていく	職員に得意料理をヒヤリングして、毎日の献立が偏らないようにする。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。